



# 誕生から90年 愛称 | 朝採りの恵み

県内2位の出荷量を誇る

## 川西発祥のいちじく

新品種の栽培成功から90年  
愛称を公募し決定。ブランド化をめざす

川西産いちじくの特長は、朝採り・完熟。国内で販売されている代表的な品種の「柘井ドーフィン」。川西市で初めて栽培されたといわれています。

### 川西特産いちじくが生まれた理由

いちじく栽培の歴史は古く、その始まりは紀元前2000年以上ともいわれ、ブドウと共に最も古い栽培果樹だと考えられています。

普段、よく食べられているのは「柘井ドーフィン」という近代品種で、国内販売の約8割を占めています。この「柘井ドーフィン」が初めて栽培された地が、川西市といわれています。

明治42年、広島県の苗業者だった柘井光次郎氏がアメリカから苗木を持ち帰って、各地で試行錯誤を繰り返しながら栽培を研究。当時、猪名川流域の

良好な土壌を生かし、モモやミカンなどの果樹栽培が盛んだった川西でいちじくの育成を始め、栽培に成功しました。

このち「柘井ドーフィン」は、上品な甘みや実が大きいこと、また栽培のしやすさなどから、全国に広がりました。

### ブランド化に向けて愛称が決定

川西でいちじくの栽培が始まって、今年で90年。これを記念して、さらにPRするために愛称を募集しました。

北は北海道、南は鹿児島県から272通の応募があり、選考の結果、市内に住む山内裕介くんが考えた、「朝採りの恵み」に決定。

今後はこの愛称で、川西産いちじくのブランド化をめざします。



### CHECK & QUIZ

次の空欄(○の中)を埋めてください。  
1:○るさとづくり寄附金 2:かわにし健康マイレー○

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、今号で興味のある記事と感想を書き、9月10日(木)(消印有効)までに〒666-8501・広報課「クイズ」係へ。

※8月号の正解は(近)(り)で、94通の応募がありました。

### 7月末現在の人口

男.....76,327人 (-57)  
女.....84,055人 (+17)  
計.....160,382人 (-40)  
世帯数...68,971世帯 (-36)

川西の元気いっぱい  
キャラクター  
きんたくん

